

ニューズレター No.86

発行人 寺田 貢

2016(平成28)年3月28日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.86 をお届けいたします。今回は,

- (1) 関西支部会第8回支部大会開催報告
- (2) 2015(平成27)年度第3回理事会報告
- (3) 学会誌オンライン投稿システム稼働について

についてお知らせいたします。

関西支部会支部大会開催報告

第8回関西支部会支部大会は, 東海・北陸支部会, 英語部会と学習言語部会との共催で, 2016年3月22日(火)に京都三大学教養教育研究・推進機構「教養教育共同化施設(稲盛記念会館)」で開催されました。

1件の研究発表の時間を60分として, 濃密な議論が展開されました。以下に概要を示します。

日程: 2016年3月22日(火)

会場: 京都三大学教養教育研究・推進機構「教養教育共同化施設(稲盛記念会館)」

主催: 関西支部会

共催: 東海・北陸支部会, 英語部会, 学習言語部会

プログラム:

8:30 受付開始

9:15 開会式(104教室)

・開催校挨拶

・展示企業紹介: ラインズ(株), (株)タオ

9:30~10:30 研究発表1

【101教室】

鞍掛哲治(鹿児島工業高等専門学校), 嵯峨原昭治(鹿児島工業高等専門学校)

「動機減退を起こした初年次学生を対象としたアンケート調査の分析と考察」

【104教室】

村上裕美(関西外国語大学短期大学部)

「深い学びを実現する学習者主体の文法学習教材の考察」

【105教室】

宇佐美彰規(武庫川女子大学)

「日常的な授業の取り組みを刺激するコミュニケーションシートの活用と実践」

【106教室】

鈴木政浩(西武文理大学)

「英語授業学研究再考(2)—授業者の寛容さと教科における専門性の関係—」

10:30~10:45 休憩

10:45~11:45 研究発表2

【101教室】

水町龍一(湘南工科大学)

「高大接続におけるリテラシー概念の可能性」

【104教室】

原口友子(常葉大学)

「音読指導を活発にするペア・ワークのオリジナル教材」

【105教室】

井上聡(環太平洋大学)

「文法構造と言語機能への意識化を図るための授業実践—習熟度と動機づけの観点から—」

【106教室】

神谷健一(大阪工業大学)

「日本の大学リメディアル英語授業を巡る—考察—教師論・教材論・学習者論の3つの観点から—」

11:45~13:00 昼休み

13:00~14:00 研究発表3

【104教室】

小山政史(福井工業大学), 阿武尚人(京都産業大学)

「『階層性』を利用した英語語彙の学習指導法」

【105教室】

石毛弓(大手前大学)

「ライティング指導におけるルーブリックの活用事例」

【106教室】

浅野享三(南山大学短期大学部)

「人工知能時代のグローバル人材育成と外国語(英語)教育」

14:00~14:15 休憩

14:15～16:15 リメディアル教育を語り合う(104 教室)

話題提供 1(20 分):児玉英明(京都三大学教養教育研究・推進機構)

「リメディアル教育のビジョンとディレンマ」

話題提供 2(20 分):鷺北貴史(高崎経済大学)

「ディバイド化する大学とリメディアル教育の志」

16:15～16:30 休憩

16:30～17:00 関西支部総会・意見交換会(104 教室)

矢島彰(大阪国際大学)

17:30～20:00 情報交換会

2015(平成 27)年度第 3 回理事会報告

以下の要領で、2015(平成 27)年度第 2 回理事会を開催いたしました。議題の概要について示します。

期日:2016 年 3 月 21 日(月):16 時～18 時 40 分

場所:京都三大学教養教育研究・推進機構「教養教育共同化施設(稲盛記念会館)」会議室

【審議事項】

1. 2015 年度中間決算, 2016 年度予算(案)

会長から 2015 年度の中間決算と 2016 年度の予算案について紹介されました。

2. 事務局業務契約書

会長より国際文献社に委託している事務局業務の 2016 年度契約について説明されました。これに関連して審議事項 7. ホームページの更新と 9. 源泉税関連業務の委託についても説明されました。

3. 第 11 回全国大会開催報告

全国大会企画委員会委員長(小松川理事)から、開催結果と決算について説明され、決算が承認されました。

4. 第 12 回全国大会準備状況

全国大会企画委員会委員長(小松川理事)から、準備状況について説明され、予算案が承認されました。基調講演の講師・専門部会企画・現地企画の準備状況が紹介されました。

次回以降の全国大会に向けた検討事項として、現在は認めていない大学会員や賛助会員による全国大会での研究発表を認める方向で検討を進めることとなりました。

5. 編集委員会からの提案

編集委員長から、査読システムの導入と J-Stage による電子ジャーナル化について説明され、推進していくことが承認されました。会誌の電子ジャーナル化については、即時公開の方向で検討していますが、公開日を決めた方が会員にとって分かりやすいという観点から、再度確認することとなりました。また、現行のバックナンバーのオンライン公開の発行から 2 年間の公開制限を廃止し、オンライン公開された論文などの記事は公開され続け、1 年間でまとめて冊子を発行することとしました。

他に、従来、英文アブストラクトを不要としていた種別の記事についても、英文アブストラクトを追加できるようにすることと、キーワード集を作成することが承認されました。

6. 研究活性化支援制度・表彰制度の提案

会長から、前回の理事会からの継続審議事項として研究活性化支援制度と表彰制度について提案されましたが、審議の結果、ワーキンググループを設けて、案を再検討することとなりました。

7. ホームページの更新

会長から、ホームページの更新について、料金体系が、月額(6,000 円/月)であったものが、更新件数ごと(3,600 円/件)に変更されることが説明され、承認されました。

8. 支部会活動費

会長から、従来の支部会開催補助金の 30,000 円に代え、部会活動費と同様に 50,000 円支給とし、支部大会以外の活動にも利用可能とすることが説明され、審議の結果承認されました。

9. 源泉税関連業務の委託

会長から、全国大会・支部大会などの講師や寄稿者への謝礼が発生するときの源泉徴収の処理を国際文献社に委託することが説明され、審議の結果承認されました。

10. 三役会議の提案

会長から、従来 3 月に行われてきた理事会に代えて、会長・副会長・事務局長(今期は不在)を三役とした三役会議を開催し、次年度の予算案などを作成することが提案されましたが、従来通り理事会を開催することとなりました。

11. その他

工藤コミュニケーション能力育成部会長から、部会の規程の作成について質問があり、部会の構成員により認められたものであれば規程として有効であることとされました。

【報告事項】

1. 会長・業務執行理事の業務報告

会長と業務執行理事(全国大会企画委員会と編集委員会の委員長)の前の理事会からの業務状況について、報告されました。

2. 支部大会開催報告

第4回関東・甲信支部会支部大会と第8回九州・沖縄支部会支部大会について報告されました。

3. 会員動静

会長から、会員数について、2016年3月9日現在で、正会員数648、大学会員数31、賛助会員数38であることが報告されました。

4. その他

加藤東北支部会支部長から、2016年12月に東北支部会支部大会を開催する予定であることが報告されました。

学会誌オンライン投稿システム稼働について

2016年4月1日以降、オンライン投稿システムが稼働する予定で、現在準備作業を進めております。投稿システムを導入することのメリットとして、査読等の時間が短縮されることが見込まれます。

オンライン投稿システムの稼働後、投稿方法が変更になる予定です。例えば、従来「表紙(著者情報)」を作成していただいていたことが、この文書の内容は、webフォームに直接入力していただくことになり、原稿のファイルをシステム上にアップロードしていただくようになる予定です。詳しくは、利用可能になり次第、学会ホームページでお知らせいたします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢

【編集】大野 早苗